

2019

6

No.314

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる社会福祉の実現』を目指して

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

ふくし“きらり人。”
任命しました!



ふくし“きらり人。”介護老人保健施設 つまさと 江幡 克也さん(右) 小畑 輝明さん(左)

ふくし“きらり人。”とは—

福祉の仕事に対するイメージアップを図るため、福祉施設や事業所で働く方や福祉を学ぶ学生のうち、きらりと輝く人物を“きらり人。”として任命しています!

CONTENTS

- 2 3 各種事業のご案内
 - ・はんどちゃん人づくり研修等事業
 - ・生活困窮者自立支援法の改正 ほか
- 4 5 平成30年度事業報告・決算
令和元年度事業計画・予算
第5次茨城県 地域福祉活動プランを策定
- 6 7 地域福祉活動レポート
NPO法人たまり場ぼぼ(ひたちなか市)
- 8 9 ふくし“きらり人。”
江幡 克也さん、小畑 輝明さん

- 10 市町村社協職員リレートーク
- 11 インフォメーション
- 12 わかち合おう小さな善意

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。



ふれあいネットワーク



社会福祉 茨城県社会福祉協議会

各種事業のご案内

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業

(令和元年8月～9月開催予定分)

開催月	日程	研 修 名	講師名【予定】 敬省略
8月	6～7	チームビルディング研修	(株)プライマリーコンサルティング 部長 一色 秀志
	19	【新】記録の書き方研修	東北福祉大学 准教授 竹之内 章代
	20	メンタルタフネス研修(初級2)	日本ケア・カウンセリング協会 代表理事 品川 博二
	27	中堅職員研修A	八郷整形外科内科病院 医療福祉相談室長 福田 潤
9月	3	アングーマネジメント研修	ウィズン・コンサルティング(株) ファシリテーター 岡田 有加
	4	【新】ハラスメント研修(アサーションスキル)	(有)オフィス・マルチェロ 代表取締役 田中 路子
	10	【新】組織マネジメント研修	(株)ラッセルズ 代表取締役 平野 健一郎
	21	社会福祉施設等職員安全運転研修	安全運転中央研修所講師
	24	リスクマネジメント研修C (高齢者・障害者分野)	(株)フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 睦

研修システムをご利用ください！

○研修システムのご利用開始にあたって

- ・ID・パスワード発行後、メールアドレスを登録して、ご利用ください。

○研修システムのメリット

- ・FAXでの申し込みに比べ、早く確実に研修を申し込むことができます。
- ・申込後、申込完了メールが返信されるので、申込内容の確認をすることができます。
- ・研修システムページから、実施要領・申込書・会場地図等を、簡単にダウンロードすることができます。
- ・研修会当日は、掲示された受講者番号を確認しなくとも、「受講票」を提出することで受付ができます。
- ・県社協会員事業所は、研修受講履歴管理ができます。

茨城県社協 研修

検索

生活困窮者自立支援法等が改正されました

生活困窮者の一層の自立の促進を図るため、生活困窮者に対する包括的な支援体制を強化、生活保護世帯の子どもの大学等への進学支援、児童扶養手の支払階数の見直し等の改正が順次施行されています。



包括的な支援体制の強化 (生活困窮者自立支援法の改正)

子どもの学習支援事業では、学習支援に加えて、「生活習慣や育成環境」の改善に関する助言、「教育や就労(進路選択等)」に関する相談に対する情報提供、助言、関係機関との連絡調整を実施することとなります。

(平成31年4月1日施行)

生活保護世帯の子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、 大学等への進学を支援(生活保護法の改正)

生活保護世帯の子どもが大学等に進学した際に、新生活の立ち上げ費用として、一時金を給付する制度が始まりました(自宅通学で10万円～自宅外通学30万円)。

(平成30年6月から実施)



ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進 (児童扶養手当法の改正)

児童扶養手当の支払回数が、年3回から年6回に変更されます。

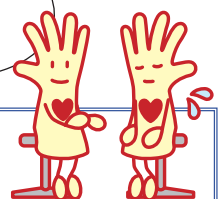
(令和元年11月分から実施)



様々な事情で生活が苦しくなることは誰にでもあります。
そのような時には、迷わず地域の自立相談支援機関にご相談ください。

●自立相談支援機関の窓口●

- ➡市にお住まいの方
市役所または市社会福祉協議会
- ➡町村にお住まいの方
県福祉事務所(相談センター、県民センター)



茨城県福祉人材センター実施事業



インターネットで福祉のお仕事検索

茨城県福祉人材センターでは、茨城県から委託を受けて、福祉・介護・保育など、福祉分野全般の無料職業紹介を行っています。

来所による窓口での相談の外、「福祉のお仕事」ホームページからの求職登録も受付ています。

「福祉のお仕事」ホームページは、中央福祉人材センターが運営するサイトで、各都道府県の福祉人材センター・バンクが運用しています。求職登録の外、福祉の資格に関する情報や、福祉に関する統計情報なども掲載しています。



福祉のお仕事

検索



福祉のお仕事就職フェアのお知らせ

福祉事業所との面談や福祉の仕事・資格等の情報提供を行います。

開催日及び会場	8月3日（土） 会場：ホテルレイクビュー水戸 水戸市宮町1-6-1
参加対象	福祉・介護の職場に興味のある方、就職を希望する方
参加方法	事前申込不要。当日会場にて受付。 参加費は無料で入退場は自由です。また、履歴書の持参は必要ありません。 参加の上、アンケートにお答えいただいた方には500円のクオカードを差し上げます！
参加事業所	県内で現在職員を募集している事業所や、新卒者（令和2年3月卒業見込者）の採用予定のある事業所などが多数参加します。



初任者研修支援事業のご案内

～介護の仕事をする方～

資格取得を応援します～

茨城県福祉人材センターでは、次の方を対象に、初任者研修の受講費用の一部助成事業を実施しています。

対 象	◇介護職員初任者研修を修了後、県内の介護施設・事業所に就職した方 ◇県内の介護施設・事業所に就職後、介護職員初任者研修を修了された方
助 成 額	上限9万円 ※研修修了や就職の時期に条件があります。
募 集 期 間	令和2年3月15日（必着） ※予算の上限に達した場合は終了となります。



職場体験事業のご案内

～福祉の仕事、体験してみませんか～

福祉の仕事に興味・関心を持っている方に、実際の福祉施設・事業所の職場の雰囲気やサービス内容などを体験していただき、仕事の適正探しや今後の就職活動の力にさせていただきます。

参加対象	◇福祉・介護の仕事に興味・関心を持っている方 ◇茨城県内の福祉施設・事業所に就職を希望している方
参加条件	◇中学生以上ならどなたでも参加できます。 ◇資格・経験等不問です。 ◇参加費は無料です。 ◇終了後、修了報告書兼アンケートを提出いただいた方には、体験1日あたり500円相当のクオカードを差し上げます。
体験期間	◇1日～10日以内

福祉の仕事に関心がある方 ぜひお問い合わせください

茨城県福祉人材センター TEL：029-244-4544

詳しくは本会ホームページをご覧ください、お問い合わせください。

平成 30 年度事業実績報告・決算

県社協は、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」のため、引き続き、行政、市町村社協をはじめ、社会福祉関係機関・団体等とさらなる連携強化を図りながら各種事業を展開しました。

県社協の主な取り組み

- はんどちゃんネットワーク運動やボランティア・市民活動の支援と市町村社会福祉協議会のスキルアップ
- ねんりんスポーツ大会やわくわく美術展の開催による高齢者の生きがいと健康づくりの推進
- 施設利用者からの苦情への相談対応及び第三者によるサービス評価や施設の苦情解決対策の構築支援
- 生活福祉資金貸付及び日常生活自立支援事業等の事業や「ツナガルねっといばらき」の運営・地域への展開による生活困窮者自立支援事業の推進
- 職業紹介や福祉職の魅力の周知、修学資金貸付事業などによる福祉・介護・保育分野の人材確保
- 福祉に従事する人材の資質の向上
- 「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」の立案・策定
- 平成30年7月豪雨災害での市町村社協と連携した被災地の復旧・復興や住民の生活支援

平成 30 年度一般会計決算報告

【収入の部】

(千円)

勘 定 科 目	決算額
会費収入	22,384
寄附金収入	13,790
経常経費補助金収入	292,237
受託金収入	240,861
事業収入	62,712
負担金収入	12,433
受取利息配当金収入	100,056
その他の収入	24,187
貸付資金補助金収入	763,846
積立資産取崩収入	4,504
事業区分間長期借入金収入	6,395
生活福祉資金会計繰入金収入	3,685
事業区分間繰入金収入	2,261
拠点区分間繰入金収入	14,276
サービス区分間繰入金収入	22,351
その他の活動による収入	749,968
前期末支払資金残高	121,387
収 入 合 計	2,457,333

【支出の部】

(千円)

勘 定 科 目	決算額
人件費支出	285,781
事業費支出	736,908
事務費支出	31,802
分担金支出	1,490
助成金支出	89,491
負担金支出	6,216
施設職員退職手当事業支出	19,524
固定資産取得支出	3,071
基金積立資産支出	3,582
積立資産支出	303,507
事業区分間長期貸付金支出	6,395
事業区分間繰入金支出	2,261
拠点区分間繰入金支出	14,276
サービス区分間繰入金支出	22,351
その他の活動による支出	744,030
予備費支出	0
当期末支払資金残高	186,648
支 出 合 計	2,457,333

「第5次 茨城県地域福祉活動推進プラン」を策定しました。～県社協が歩む5か年～

計画策定の趣旨

未曾有の人口減少や超高齢社会の到来により、社会保障財源や福祉人材の確保といった問題がより一層深刻となっており、地域が一体となってお互いに支え合う「地域共生社会」の実現が求められています。このような今日の社会情勢の変化や、県民、福祉関係者みんなが一緒になって、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指した活動を推進していくプラン（計画期間5年間）としました。



令和元年度事業計画・予算

急速に少子高齢化が進行し、地域でのつながりが希薄化するなど、社会をとりまく環境が大きく変わってきています。老々介護、障害者の高齢化、さらに、引きこもりや子どもの貧困などもあり、福祉の課題は広範かつ複雑、深刻になっています。

このような状況を踏まえ、県社協では、地域福祉の一層の推進を目指し、昨年度策定した第5次地域福祉活動推進プランに基づき、計画的に事業を展開し、活動の充実をさらに図ってまいります。

重点目標

- 地域参加と福祉コミュニティづくりの推進
- 福祉サービス利用者への支援
- 社会福祉事業の充実・活性化への支援
- 新たな生活課題への対応
- 県社協の組織の充実



令和元年度一般会計予算

【収入の部】

(千円)

勘定科目	予算額
会費収入	22,478
寄附金収入	8,093
経常経費補助金収入	289,738
受託金収入	260,083
事業収入	59,611
負担金収入	10,667
受取利息配当金収入	99,012
その他の収入	10,939
貸付資金補助金収入	63,028
積立資産取崩収入	579,433
事業区分間長期貸付金回収収入	3,394
生活福祉資金会計繰入金収入	696
事業区分間繰入金収入	681
拠点区分間繰入金収入	8,833
サービス区分間繰入金収入	26,080
その他の活動による収入	761,616
前期末支払資金残高	37,905
収入合計	2,242,287

【支出の部】

(千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	288,497
事業費支出	892,291
事務費支出	40,085
分担金支出	1,529
助成金支出	82,790
負担金支出	6,640
施設職員退職手当事業支出	21,136
基金積立資産支出	2,834
積立資産支出	10,200
事業区分間長期借入金返済支出	3,394
事業区分間繰入金支出	672
拠点区分間繰入金支出	8,844
サービス区分間繰入金支出	26,041
その他の活動による支出	827,055
予備費支出	30,279
支出合計	2,242,287

プランの
性格

- ①茨城県地域福祉支援計画との整合性に留意しながら、県社協の目指す方向、担うべき役割や課題等を明らかにし、地域福祉を総合的に推進しようとするものです。
- ②県内の市町村社会福祉協議会、社会福祉法人など民間福祉活動を強化・支援するとともに、連携・協働化を総合的・効果的に推進するものです。

この活動計画の全文は、本会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

茨城県社協 プラン

検索

はんどちゃんネットワーク運動
地域福祉活動
レポート!

令和元年5月14日取材



「ママのための たまり場」

NPO法人 たまり場ぽぽ (ひたちなか市)



NPO 法人たまり場ぽぽ
代表理事・早川愛さん

子育てで感じたストレスや孤独感とは？

ひたちなか市でママのためのサロン活動を行っている『NPO法人たまり場ぽぽ』。代表理事の早川愛さんは、法人設立のきっかけを次のように語ります。

「私は結婚を機に茨城に来ましたが、出産を控えた時期に、近所に親や頼れる友人がいなく、『なにかを頼んだり、悩みを相談したりすることができず』に、孤独感を感じていました。出産後は、子どもを連れて近所のママたちの集まりに行きましたが、『なんでうちの子どもはみんなと仲良くできないの？自分の子どもは協調性がないのかな。もしかして私の育て方が悪いの……』などのストレスを感じてたのも事実です。そこで、私と同じように出産前や子育てで悩んでいるママたちが集まって、気軽にお話をしたり、悩みの共有ができる「たまり場」をつくることができなかと考え、2015年7月からはそうしたママたちと公園に集まり、子育てに関する悩みを共有するなど、コミュニケーションをとってしまし

た。

そして、2016年8月には、ひたちなか市と協働して、よりよい環境でママたちを支援しようと『NPO法人たまり場ぽぽ』を立ち上げたのです。」(早川さん)

家庭訪問型の新しい支援のカタチ

現在、『ぽぽ』では、ホームスタートひたちなか、子育てサロン、子育て相談、ママのための時間、プレイパークひたちなか、子ども食堂「ハロの森」など、ママのためのさまざまな活動を行っています。

「ホームスタートは6歳未満のお子さんがあるご家庭にボランティアスタッフが訪問し、一緒に家事や育児、またはお話をする、新しい家庭訪問型の子育て支援です。『傾聴と協働』をテーマとして、利用者に事前にご記入いただいたチェックシートをもとに、オーガナイザー（調整役）が事前訪問を行いお悩みやお困りごとを伺います。そしてその上で、そうしたお悩みに適したホームビジターが週に1回2時間訪問し、ママの希望に沿った支援をしています。」(早川さん)

ホームビジターになるためには、「ホームビジター養成講座（無料・8日間）」の受講が必要で、



おもちゃでいっぱい遊びました！
～子育てサロン～



ホームスタートの様子



スイーツ教室でデコレーション中！
～ママのための時間～



みんなで一緒に砂遊び！
～プレイパークひたちなか～



みんなで汗をかいて頑張りました！
～ミニミニ運動会～

この講座は子育て経験があれば誰でも参加が可能です。そして、これまで『ぽぽ』では40件の家庭訪問（2019年2月末時点）を実施してきましたといいます。

ママたちの就労の場を作り地域を活性化

現在『たまり場ぽぽ』の運営スタッフは10人以上となり、それぞれのスキルを活かした活動を行っています。

「例えば、インフルエンザなどが流行する時期には、看護師資格を持つママにスタッフの勉強会を開いていただいたり、昼食づくりは栄養士や調理師免許を持つ方に協力していただくほか、毎年『ぽかぽぽフェスティバル』を開催しています。今年は音響関係が強い方に手伝っていただく予定です。」

そして、早川さんはママたちの就労支援に向けての構想を語ります。

「結婚や出産を機に退職された方が新しい仕事に就けるように、または育休後の復職など、ママたちがスムーズに仕事ができるように、ママたちの就労支援に取り組んでいきたいですね。例えば、人材不足で悩んでいる企業の人事の方とお話をして、企業とママたちをマッチングしたり、カフェをOPENさせたりなど、私たちが社会とママたちの懸け橋になればと思っています。」

最後に早川さんは今後の活動について次のように語ります。

「私自身がそうであったように、ママ自身に幸福感がないと子育てに負の影響が出てしまいます。

そうならないためにも、同じ悩みを抱えているママたちにサロンなどに参加していただくことで、子育てにおける悩みの共有や生きがいを感じてもらいたいですね。そして一人でも多くの元気なママが地域とつながるようにサポートしていきたいと思っています。」

同じ境遇や悩みを抱えている方とお話をするだけでも心が軽くなり、より一層、育児が楽しくなる。そんな生き生きとしたママたちが地域に増えていくことで、子育てがしやすい街となり、街が活性化していくのではないのでしょうか。

【主な活動内容】

- ホームスタートひたちなか
（家庭訪問型子育て支援）
- 子育てサロン
（毎週火曜日、金曜日10時～14時）
- 子育て相談（予約制）
- ママのための時間（各種講座開催）
- プレイパークひたちなか
（子どもの冒険遊び場・不定期開催）
- 子ども食堂「ハ口の森」（不定期開催）

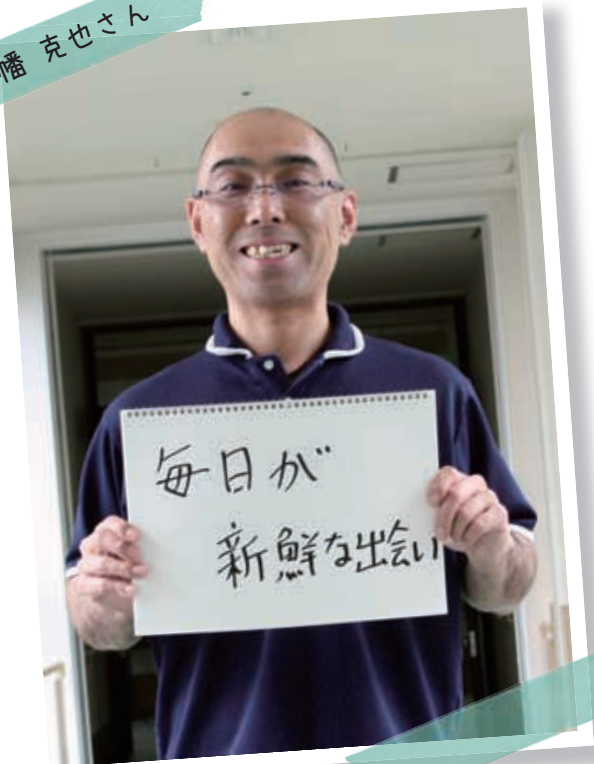


ぽぽスタッフの皆さん

ふくじきりり人。

題字：江幡 克也

江幡 克也さん



え ば た か つ や
江 幡 克 也 さん
こ あ く つ て る あ き
小 坏 輝 明 さん

介護老人保健施設 つまさと（水戸市）

水戸市の介護老人保健施設『つまさと』で働く江幡克也さんと小坏輝明さん。二人とも自分が入院した際に多くの方に支えられた経験がいまの仕事につながったといいます。そんな福祉の現場でキラリと輝く二人にお話を伺いました。

福祉の道に進むきっかけ

「振り返れば、小学生のときに交通事故で入院生活を強いられ、『4ヵ月間人の手を借りなければ生活ができない状態』となりましたが、看護師さんに支えられた経験を今でも鮮明に覚えています。また、高校生のときに障がい者スポーツのボランティアに参加したことがきっかけで『誰かの役に立つ仕事』があると実感しました。この2つが結びつき、福祉の道に進もうと思いました」（江幡さん）

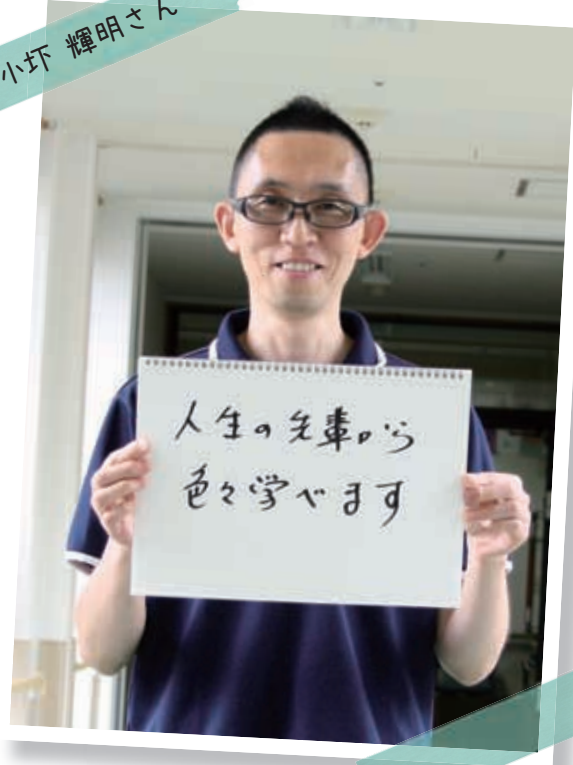
「工場に勤務していたときに、指を怪我してしまい一ヶ月間入院していた際に、看護師さんやヘルパーさんに細かい心配りで私をサポートしてもらい、福祉や医療の仕事に感銘を受けたのが今の職を選んだきっかけです」（小坏さん）

現場でしかわからない気付き

高い志を持ち、福祉の道に進んだ二人ですが、いざ「現場」に入るとさまざまな気付きがあったようです。

「福祉の専門学校を卒業後、現在の職に就きましたが、現場では教科書だけでは学ぶことが出来ない経験をしましたね。もちろん、論理やベースとなる基礎を学ぶことは必要だと思いますが、現場では利用者一人ひとりに適した支援の方法が求められていると思います。決まりきったやり方などなく、10人いれば十人十色の対応や接し方があると実感しました」（江幡さん）

小坏 輝明さん



自分の経験を福祉の仕事に活かしたい 福祉とは笑顔になれる仕事！

「私は専門学校を出ていないので、実習経験がないまま現場に入りましたが、テキストには書いていないさまざまな介助のやり方もあると気付かされました。ときには、『どうしてうまくいかないんだろう…』とひとりで悩んだりもしましたが、そんなときは職場の上司に相談してよりよい介助の仕方を模索していましたね」(小坏さん)

利用者さんの些細な変化に気付く大切さ——

一般にどんな職業でも現場で経験してこそ感じる悩みや驚きがあるといわれていますが、それ以上に二人は「仕事のやりがい」を感じているそうです。

「福祉は『毎日笑顔になれる』仕事だと思います。人間だれでも明日どうなるかはわかりません。だからこそ、一日一日に集中して、いま自分ができていることを精いっぱいやり遂げ、昨日こうしておけばよかったな、などの後悔を生まないためにも一人ひとりの利用者に向き合っています。そうすることで、多くの会話を通して些細な変化にも気付くことができ、利用者と職員の間に自然と笑顔が生まれるのではないのでしょうか。この仕事に就く前の上司に『江幡君がいるだけでみんなが笑顔になれる。そんな介護士になりなさい』と言われたことがあり、その言葉を胸に刻み日々仕事をしています。ときには、利用者にとんち話や落語のような小噺、昔話をするときもありますね(笑)」(江幡さん)

「前の職場は物をつくる仕事。いまの仕事は喜怒哀楽を利用者と共有することで、感謝の言葉をいただいたり、昨日できなかったことが今日できたりなど、利用者のちょっとした変化が見られたときに、仕事のモチベーションもあがり、「この仕事を選んでよかった!」と自然に笑顔になりますね。そのため、一人ひとりと向かい、何か一つでも改善できることはないかと考えています」(小坏さん)

福祉の仕事に進むか悩んでいる方へ——

最後にこれから福祉の道に進もうと考えている方へ背中を押すメッセージをいただきました。

「福祉の仕事は『習うより慣れろ』だと思います。基礎はもちろん大切ですが、現場では、どうしても論理よりも直感性が求められるときがあります。平たんな道ばかりではなく、ときにはデコボコ道に遭

遇するときもあるのです。そんなときにその場の判断力で瞬時に切り替えができる能力が必要だと思いますね。そのためにもまずは現場でさまざまな経験を積んでほしいですね」(江幡さん)

「福祉の仕事は、まずは現場に来て、経験してもらうことが第一ではないでしょうか。当然、嫌なことや良いことなどのさまざまな気付きがあると思いますが、現場でしかわからないことがあります。そして利用者と接すれば接するほど、お互いのことがわかりますし、信頼関係も生まれます。決してひとりで支援するのではなく、職員と協力しながら、よりよい支援を目指すのが大切。スポーツでいえば野球のようなチームプレーも求められ、いろいろな人と連携をとることでより良い支援ができるのではないのでしょうか」(小坏さん)

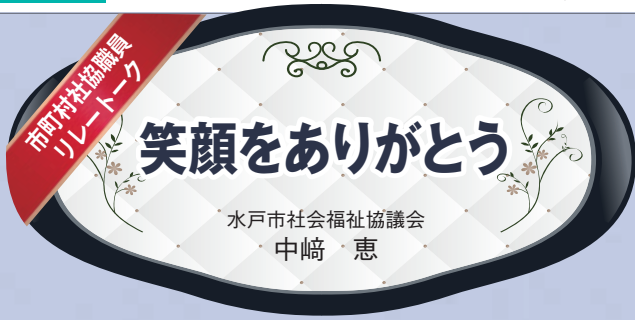
仕事のやりがいや充実感を感じながら、にこやかな笑顔で日々利用者と接している江幡さんと小坏さん。福祉のプロフェッショナルとして「一等星」のようにきらりと輝いていました。



毎日笑顔になれることが魅力です。(江幡さん)



利用者一人ひとりと向き合います。(小坏さん)



以前からお世話になっている笠間市社協の富田輝雄さんから、バトンを受け取った水戸市社協の中崎です。

父が「くも膜下出血」で倒れたのは、平成22年の冬のことでした。大手術の末、幸い命を取り留めた父は、私たちが慣れ親しんだ父と、以前よりもずっと素直になった父が交ざった様子で、そんな父と父を取り巻く環境が、日々家族をほっこりとした気分させてくれています。

例えば、某TV番組で水戸市が取り上げられ、その中で紹介されたレストランに昼食を食べに行った時のこと。TVで紹介された週末に早速行っただけで、待合室は人で溢れ返っていました。おぼつかない足取りで待合室に父が入った瞬間、4人もの方が父に席を譲るために柔らかな笑顔で一斉に立ち上がってくださりビックリ。こんなふうに、父と行動を共にしていると、地域の方の優しさを肌で感じて、気持ちが温くなる機会がとて

も多いのです。

席順がまわってきて、「お肉がいい？」等とメニューを提示したら、父はしばし考え「お父さんはパフェにする」とニコリ。「パフェも頼むけれどご飯は？」と再度聞いても「お父さんはパフェがご飯なの」と。こういう時に、父は普段さほど困ることなく日常会話をしているようであっても、ああ以前とは違うのだと改めて感じるのです。最初はそういう父にいくらか哀愁を感じましたが、テーブルに運ばれたパフェの器を大切に持って「美味しい」とニコニコしながら食べる父を見ていると、楽しいのが何より!と思えて、何だか家族まで笑顔になってしまうのです。

時々ふと、きっと父は幼かった私を見て、足元が不安定な時には「転ばないだろうか」とか、うまくお箸を使えない時には「少し見守ろう」とか、色々なことを感じながら私に接してくれたのかもしれないな、という想いが私の中をよぎります。

途中から「もうお腹いっぱいだから残す」と。父は自分が美味しいと感じたものを家族に食べさせたいのです。こういうところは以前のままなのね、と感じて、またまたちょっとほっこり。

次は境町社協の染野ユミさんに笑顔でパトタッチ。



平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン① 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)		見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用				死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円	

◆ クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) 改定

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL : 03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン② 施設利用者の補償

プラン③ 施設職員の補償 改定

プラン④ 社会福祉法人役員等の補償

▶ 年額保険料(掛金)		基本補償(A型)	
補償本 (A型)	定 員	1~50名	35,000~61,460円
		51~100名	68,270~97,000円
		100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用 (B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円	
		+	

INFORMATION

募集

きずなBOXを 設置しています！

生活困窮者支援団体等への安定的な食品確保のため、NPO 法人フードバンク茨城と連携し、茨城県総合福祉会館の1階に「きずなBOX」を設置しています。

家庭で余っている食品などを「きずなBOX」に持ち寄っていたら、集められた食品などをフードバンクが回収し、福祉団体や施設、市町村社協を通じて生活困窮家庭などに配分しています。

昨年1年間で63kgの食品が集まりました。ご協力ありがとうございました。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。



*食品は常温管理できるもので未開封、賞味期限が2か月以上残っているもの

*生活困窮者への支援に必要な、缶詰・レトルト食品などすぐに食べられる「おかずになる」食品が不足しています。

募集

本会会員を 募集しています！

県社協の趣旨・目的にご賛同いただける会員の方を広く募集しております。

会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

・正会員

県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等

・賛助会員

県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費

県社協の規程に従い、所定の会費を納入していただきます。

■会員特典

①県社協が実施する「社会福祉事業従事者研修」に、優先的に申し込むことができます。

また、一部の研修を除いて、1日の受講料が非会員に比べて2000円安くなります。

②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

■総務企画部

TEL：029-241-1133

お知らせ

県民サロンコンサートを 一度、聴きに来ませんか

総合福祉会館1階県民サロンにおいて、ボランティア演奏家による「県民サロンコンサート」を毎月開催しています。

お昼のひと時を総合福祉会館でお過ごしになってはいかがでしょうか。詳しくは、茨城県総合福祉会館ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

■茨城県総合福祉会館

TEL：029-244-4545

お知らせ

新施設のご紹介

平成31年3月29日～

平成31年4月30日までの開設

●特別養護老人ホーム

ケアステーション城里

社会福祉法人 親愛会

定員 / 従来型 30 名、

ユニット型 40 名

〒311-4323

東茨城郡城里町上戸 624-1

TEL 029-297-3201 FAX 029-297-3202

●特別養護老人ホーム かなえ さと 鼎の郷

社会福祉法人 河内厚生会

定員 / 29 名 (ユニット型)

〒300-1403

稲敷郡河内町金江津 7501-2

TEL 0297-84-1686 FAX 0297-84-1687

茨城県総合福祉会館 ご利用案内

茨城県総合福祉会館のコミュニティホール（定員 296 名）や各種研修室は、一般の方にも貸し出しを行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また、駐車場の混雑状況はホームページでご案内しております。

ご来館の際の参考としてください。

茨城県総合福祉会館

検索

〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548



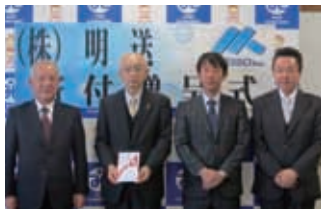
わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかいご支援を紹介します～

平成31年1月～平成31年3月 善意金などの預託と払い出し状況（敬称略）

交通遺児福祉基金

合計 239,810 円

(株)明送 100,000 円 JSA 中核会 127,100 円
損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店 12,710 円



(株)明送
(100,000 円)



JSA 中核会
損害保険ジャパン日本興亜 (株) 茨城支店
(139,810 円)

善意金

合計 2,016,661 円

茨城新聞文化福祉事業団 1,500,000 円
丸大食品 11,897 円
株式会社ライズ 4,764 円
茨城県 PTA 連絡協議会 500,000 円



茨城県 PTA 連絡協議会
(500,000 円)



(株)セイコーマート
(621,563 円)

ボランティア基金

合計 621,563 円

(株)セイコーマート 621,563 円



善意品

リスカ株式会社
(下町焼きそば味 15 袋 × 2 箱)
(一社)生命保険協会茨城県協会
福祉巡回車 2 台



(一社)生命保険協会茨城県協会

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

茨城いのちの電話 (株)タナカ
(株)常南部品商会 茨城県近代美術館
常陽銀行従業員組合 (株)明送
茨城倉庫(株) 茨城県県北県民センター
茨城県立水戸聾学校中学部 2 組工房 (有)根本機工
茨城県信用保証協会 浅野 雄太
常陽ボランティア倶楽部 アズビル(株)ビルシステムカンパニー茨城支店
茨城県保健福祉部 健康長寿福祉課・地域ケア推進課・子ども政策局少子対策課・障害福祉課
各市町村社会福祉協議会
(小美玉市、筑西市、鉾田市、土浦市、坂東市、桜川市、常陸大宮市、高萩市、城里町、結城市、水戸市、
ひたちなか市、潮来市、龍ヶ崎市、牛久市、石岡市、常総市、鹿嶋市)

平成30年度の各基金の
払い出し(配分)状況について
ご報告いたします。

ボランティア基金

	助成金額
ボランティア団体助成 (9 団体)	2,803,028 円
市町村社協ボランティア センター助成 (28 社協)	8,112,256 円

交通遺児福祉基金

	金 額
就学奨励金 (合計 19 名) 小学校卒業 8 名 中学校卒業 11 名	1,440,000 円
ナスバ コンテスト 助成	20,000 円

善意金

	金 額
指定払い出し	13,767,004 円
団体助成	350,000 円

平成 30 年度
使用済み切手・使用済みカード等
寄付の換金結果

使用済み切手 (約 3,096,478 枚)	376,160 円
使用済みカード (約 30,606 枚)	9,000 円
合 計	385,160 円



いばらきの社会福祉
Social Welfare of Ibaraki

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

T E L : 029-241-1133 (代)

F A X : 029-241-1434

ホームページ <http://www.ibaraki-welfare.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>

E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会